朝野兩黨の對議會策 主力を貴族院 政府案十日迄に纒める

施政方針演說

答辯り俺がやる

道理を以て

元氣な首相が頑張る

政府の施政に難し理論開発を接触がながあるのに他の社さして

陸軍軍制改革案

、二ヶ月中に完成

の打機会に乗び中國は治外法権の好機会に乗ぎ込まれるは多然で日の浸でもところなき大英帝國は武はするところなき大英帝國は武はするところなき大英帝國は武はするところなき大英帝國は武はするところなき大英帝國は武は一個人の行機会に乗び中國は治外法権の利益を関するという。

路都で交渉

緒方領事はあす入露

露問題は總で

を現て終始し堂々の記憶を布いて、故の裏礁を危荒に概せしめたるは「を布いて政府と聴ふさなしてゐる瞭覧ないため大鶴越野が『婆稚野一部界を極度の不況に陥いれ関家財」であるから政友會はすべての問題。政府は實現の誠意なく説で表園經」であるから政友會はすべての問題。東京五日景電通』政友會では休一意野法改正、婦人公民権問題等も「政府の政策官しきを得ざりし結果。

止攻法の陣容を布いて

【南京五日養電通】郷穴石氏は本 日國民政府において年頭の所慰さ して一九三一年の國民政府外交方 批中治外法械問題に官及するや大 脱続して

取消申込新聞通信

團が取消を要求

神込 は要素さ内容に補適があるからこばの中込 は要素さ内容に補適があるからこば要素さ内容に補適があるからこば要素さ内容に補適があるからこば要素さ内容に補適があるからこば

一 であるが、総態問題 であるが、総態問題 がより

一大連 ・ 一大 ・ 一

本 見れば一昨年の入極は内地は六千本 見れば一昨年の入極が一般国功上に上つてかまる。昨年と略同様であつて、他人まる。昨年と略同様であつて、他人

大觀小觀

與黨出身閣僚と 幹部が聯合懇談 十日過ぎに會合して を が を 板本さと 政府な 縦げて 選進する 事

貴族院が

慰問演說

『東京六日發電通』軍艦に伴ふ稼 下開深道整備数 一、整理人員数 一、整理人員数 一、整理人員数 第一次を正百世 がある。 「関係で中心に溶軍省は大蔵者」 「開深道整備数

連戦手能を五百萬間程度に低下せ

大蔵者は最後的が飲

を出来る限り残め上つ

兵道に會計画 を製造 を製造

郷部の正験長、正作部にてそれと同時に各鎮

七日午後一時代より既に内様能歌 間する常識の決定を貸すここ、な

首相登院の日

さいはれてゐる の二問題な中心に潔軍者は最後の決定のため六日以後駆日中安保部根外となりればなられてが監督財金道には大成者に対して家軍者は最後の決定のようなりで家軍者は最後の決定のようながある。

蔣介石氏

の暴言

羊角叢談 民心を外に

こには程度があり、静床の勢ひことがあつては現で整備へるが遅きことがあつては現で整備であるが遅きことがあっては現で整備であることを発展しません。 のだ。 むも、如何に民心な野外に向けるさいふこさはピス な外に向けるさいふこさはピス なが、 如何に民心な野外 史公

れてゐるのみである。

に根重ない。さころが中央政府さして終に。俳心中央政府さして

がこれを時間しやうにも味力それには氏心の帰郷が単しれ。早い話がの他の窓力が供はれ。早い話がのだ。その共興の財化さへ覧帳はざいなさこれば、中央政府さしては氏心の帰郷に最大の対象を

校の種類を明示しこれ

何にして挑戦、整備の人類を滅す には質に大問題である。然らば処

全快

法

べきかさいふに、

機はればならねこさになる。が 機に支那において最も燃料値でなく をれに被答の手動き魅力さた必 要する。たゞ一つの受賞にもて 変がにおいて最も燃料値でなく が

事なりさいふこさは出来のである。 一九三一年の支那、かくの駆くにして内年の支那、かくの駆くにして内にの支那、かくの駆くにして内

部大鼠の際呼によって跨立せしむ を職業単校を新規室によらもめ交 の事業単校即ち飛ざ凡ゆ

大れ、内地の整記を以て限地の 製に壁で隔地が飛声とかで、 ものか好くすることが更に急務で ある。強く世界各国に配く酸権を 機場することも必要であるが、本 単は生力記く無針、整徴に急務で ものか好くすることが更に急務で が発声といっているが、本

施製撮験の一助さもなるのである 施製撮験の一助さもなるのである を本位を使に欲立ち、同時に内地

秘方

功即山鄉林寺

(者で都方の本な二世報

鐵道部室割

するここになり近く皆かするこことがせらむる方針であるな歌響しこれな本年四月から實施ではこれ等などん 隱忍時代の方策 な金属に子三百餘敗命るが対節後、

その成行は注目されてゐるを外間機能の策略も見られるので

人員と退職手

出來る限り低

海軍工廠の整

理方針

選舉改正法ご 內務省議

法學博士 た業者の報出は依然発れないこ見 やうであるが、國内だけの需要に禁 する生態の設備さしては各方館されない。 高柳松一郎

植民地貿易に留意せよ

は来る七日盛北景上京するさ 石塚總督上京 閣議決定人事『東京六

等ン 禁任ルクセンブルグ全権公使 (一 特命全権大使 佐藤 尚武

判事 西野 女市

電五日線】七日大洋原集定のうち 地軍中将坂西州八郎、野副健二 江口憲朝、秋川正義 うらる丸船客(門司特

の理上げ、世界版不限の複響は如何では、世界版不限の複響が影響を持ちない。 をいから、然配素版を謂きない。 をはなる文が呼時間まるか見飲も付か たらむる文が呼時間まるか見飲も付か があるし、酸情の異常し の理上げがあるし、酸情の異常し の理上げがあるし、酸情の異常し

▲工藤旨浩氏(ラル 日神 通丸にて無津 日神 通丸にて無津 となった。一泊、六日午前十一 トホテルに一泊、六日午前十一 と、生丸にて上海へ

の職務が決して無理な仕事ではなせいの職務が決して無理な仕事ではない。 新市場

うらる丸

経済地一品(カメログ建会)時的店屋で発行する。 記者はナショナル製に何れる連 子女子男男用

極海、外国の使配にも及ぶ。賢き 解れる氏、新年気々から失記。

職、一員の元首が日にすべき対句 云々なごういふに歪つては記跡道 云々なごういふに歪つては記跡道 不平等検索の膨脹か云とするの が が はり、 同民政府が 振

整理案調査進捗す 大蔵、拓務兩省から委員任命 本年四月頃に委員會

歐州大戦前の如しさ

東京五日景電画 大内山の神都にないたの様代地の下谷町となりに、秋々宮城院大に御殿させられた、秋々宮城院大に御殿させられた、秋々宮城院大に御殿させられた、秋々宮城院大に御殿させられた、秋々宮城院大に御殿させられた、秋々宮城院大に御殿させられた。 日本大戦か、幣原首

外交圏代表の

型二百來着して縣市局の大衆待を受けた、甲板では慶長カンソス中佐以下三百十名の乗組員が日本入スペイン練習を握の日本訪問 切には本総間の途跡一編地を先人ゆかりの娘スペイン練

印象な大優よくも

高松宮殿下に

動章が御贈進

きのふ宮中にて

新年宴會の御儀

文武百官を召されて

大師あらせられ諸哉し殿聖神に同五十分 天皇陛下都就縣就職神に

本は、 本地の温度 本地の温度 本地の温度 本地の温度 本地の温度 本地の温度 本地の温度 本地の温度 一三、八同一五、九 一三、八同一五、九 一二二二同二二、元



紅烈な出初さ

| は大なる消防力を市民に示した ける電園下の壯

売ましき分別式が行はれ、今非器 総を十八整の徴跡自動車の行進、 ◆千 旅順七、京城五、松本三 拜山(艦順)二十五分五十一

京城七、松本五

隊長、石井大連、

埠頭消防隊

帝大概をカップをそれら 女性に

全國中等學校氷上競技の成績

| ※上ホッケー決勝戦制機||神野紫癜| 等県校派上競技大會の最終を職る

模範職工表彰式 『東京五日養電通』日本庭珠線 では四日、明和五年度底球ランキ では四日、明和五年度底球ランキ

全國高校氷上大會に

四年振りに 窃盗判る

聖徳會がきのよ舉行

あり民政器長代理館田殿務課長

十関)を窃取 同家田中がに起いたさ 家人不在中であるの 家人不在中であるの

心に先づ高校スピー

日教電温』全国自等場位に先づ高校スピード競技のに先づ高校スピード競技のにたって、

旅順工大豫科は第二位

畏き御沙汰

入相撲の春場所

L统吉若賓 野瀬

速して年寄さなったものは左の妃

(東西)常建岳(竹様)大蛇山(龍帝の花(藤島)黎岡(九重) 東開

極楽したのは観光一名である

番。附。發。表

能代潟が張出大關に返喚き

西方總帥常の花退

9

生涯を捧ぐ

隠退の常の花

附の成績 れので ので大目法の上拘留十日に處せらせに能けて居つたこさが戦明した

五日を本より吹き取った北郎は牛撫順丸アワや大事

右ノ者不都合有之解離仕族今後一切職係無之候間此段既告候也を決して、常義の通

廣

告

まるきん婦人用品店

退いた常の花 悲喜交々

11 で されたが肩 場所 常陽に た、東では か代 変 り 影音 海 場所 常陽に た、東では か代 変 り 影音 海 水 階 は で 数 れた 東東 が 欠 し 臓 に ったが、 若 楽山 は 三 要 も と な ま か と な と ま か と な と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と と ま か と ま か と と ま か と

三、覆三(腹盤)十一分惟八秒八一、令井(磨磨)十一分惟六秒四一、令井(磨磨)十一分惟六秒四

大連は零下十二度 · 人名

の歌の入りな連へた、四端を整へた三彩の本榜能ない歌の入りな連へた、四端を整へた三彩の本榜能なのがヒシくくさ神都に遊遊する冷たさの懸然になら、ペーヴメントの漢て、ピルデングの物能をの近れ一ト瞬りに勝つて、四日夜からキーンさ累 寒さは續く

りにいつてもこの寒さは、と春はさすがに水駄をからグラさ低下して六日からグラさ低下して六日がらがラさ低下して六日がらがラさ低下して六日がい水駄を れる仕組、空前の新記載である名は部」は有名な十二姓生が置者名は十二姓生が置者 市内祭町番州地家具製作製新願品市内祭町番州地家具製作製新願品市内での祭町番出所に出願品所に出願品

香 職 州 日 死 去 在 職 州 日 死 去 を 職 州 日 死 去 た 北端後、下 園市において活動し う 同市長崎町 東 方 司 二 〇 六 五 香 地 一 において 必 ま し た さ の 記、 脚子 大 下 の 記、 脚子 大

を が天を織げてるた松の内も六日に なって全く満洲らしいお正月余分 なって全く満洲らしいお正月余分 が 大田の島幌成は でん 地には 「この総で内地に行け びん 丸には 「この総で内地に行け でん 丸には 「この総で内地に行け な が 親兄弟に見 没られ 多数乗船出 冬休の學生職連

大果野子家市歴出版以下銀行旅歌、より小能子香内庭田殿都要である。 まり小能子香内庭田殿都要である。 まり小能子香内庭田殿都要である。 放尿中落ちて死す 初音町第一

同御直伴にて是非御越し被下度相待居り升御入浴出來ますからお正月にはお家族御一今艘家族温泉修繕致しまして一月一日より 金三圓より五圓迄 人口付五拾錢割引 二人以上

対安くお泊りが出来る類は およく 無 軽く

解松尾紅り仙庵堂

せ

賣

代表(電話七一八七巻)

輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春 輝かしい一九三一年の新春

· 唯金六圓工拾錢 · 唯金五圓八拾錢

んそく治療

池田小兒科門醫院

電話 五八一六番電話 二二六五七番 ホテ カ局九時三十分聚三十二番メース ルの勢力さ漸離小瀬市の来援によって総く觀を現れた、物響さらて は見るべき観の見れたが全般量の必 が突をうがつたさ か一次をうがつたさ 職鬼は悪風の異なうけ走線が派 正

互禮會 西部大連新年 **御井、木塚(柳柳大)**

北平訪問飛行

目下景品付

大特賣

中

のジョンリン嬢

不時着小破す

一木日質品

踏査の貿易風號 西洋橫斷航路 針路を誤り引返へす

にあるイギリスの女リンドパークでロンドン北京間覧泉飛行の影途

点すべくアメリカ 飛降り自殺 本 しワルソー 郷田モスクワに向ふべしワルソー 郷田・スクワに向ふべに不時前の強め監地に近きアメリン村に不時前の強め監地に近きアメリン村に不時前の強め監地に近きアメリン村の後再び染ぶコースを表示。 という はトラックでワルソー かん までいる る

宮內省御用譴

-00

ヤマサ智油株式會量

がを操縦三日糖ロング - 助手を同薬せ 12/42 はまる四日午後五時代院が大学ではまる四日午後五時代院の窓口から東京六日要電画 日本航空町 大際の窓口から東び下り 東京六日要電画 日本航空町 三地でに此の1200 を大阪の窓口から東び下り 東京六日要電流でに此の1200 を大阪の窓口から東び下り 東京六日要電流でに此の1200 を大阪の東京大田が東京が下り 東京六日要電流では此の1200 を表示された。大阪では日経の東京大田を設定したが1200 を表示された。1000 を表示された。 から神経衰弱 用方法に関する総字を解決すべく選出は勝を重れたが三日午後に至った留養表された他のでなない。当時に変った留養表された他のでなない。 ルス地が炭業者気能線管は十二 英國炭坑爭議

本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町三五一本京府大森町市本京市地震東京市地震東京市大森町三五一本。

で非常に複似してるる で非常に複似してるる、三値では底域がであった。 三値では底域がであった 帥の葬儀 ジョッフ ル元

覺え易

元誠の聚像は六日執行する宣教表 七人組强盗

二軒を襲ふ

警察をタブら

す不屆者

在庫豐富

發

資 元

中塊 炭金拾 愛 圓電 上等塊炭金拾貳圓五拾錢

經濟價值大絕

電代表六八萬

(日曜火) あんたのやうに調の地られえが 地なら、開催を笠に無理を選すか 地なら、開催を笠に無理を選すか 電 壁里 入 瓢箪床CD いって、ガラリさカ任せに関け、 のつそりで大きな侍が店の土間へ のつそりで大きな侍が店の土間へ で入ってきた。 手で吹きながら、麻鯵する織りかい「不堪な娘ツ! 散縁、こ、これが、「不堪な娘ツ! 散縁、こ、これが あるめえし、他はそんな雰囲な歌いりこぼしがあるものか?複樂廻ぶりこぼしがあるものか?複樂廻 さ懸しにし、滞者の節から焼に総受し無用があるから、町人焼はあ では出来るものか?他所の床屋 でとんならいざ知らず、さまりも でなっているお野狼のお で、これなべられない。 でありの祭に、そんなべられない。 でありの祭に、そんなべられない。 けて「世の中には磁分配器なお武 常が無ツ切ら棒にぬれつけた。 っぐに結へるか?」 曹操が結のか?」さ大喝し 如地面 郷者を収弁致すなし は、できっか?望う棚むと時せばよかった暗」と、親は観で空いてぬる炭ルをさく、親は観で空いてぬる炭ルをさく、親は観で空いてぬる炭ルをさし起してあれば、何れはお然ぎの用砂きでことがのまでから、少し難いで仕るから、少し難いのは、かあをしますから、少し難いのは、 ながれえ。踊つてくれ!」 ががれえ。踊つてくれ!」 で首が腕から離れて塩まるものかってもが腕から離れて塩まるものかって 「急用ちやの職むから押まけ銀杏 者に無確な難くからは、その方の ちに、その方の 一つたわけらやれえ。他所へ行つて一般してくれ!大きにお仲話だる こそ、か、る機器い床見供に立ち続いてやれり勝者も然用があれば んが糖むと云ふなら取りわけて造させして「さうですかい?お武家さ 「戦む?」さ、爺は始めてカラリ 村田實と れたからな」さ、配のが、場にまなりであった刺刀があったな。あなんであった刺刀があったな。あれたからな」さ、離に続に生き 「いまして、これがある。」というでは、ないまりでは、まして、これがある。」というでは、まないまなの。これがある。」というでは、まないまない。まないまない。まないまない。 圓滿鐵計員は後拂取扱び 出ると演藝 つた。 中野洋二、五味園枝典演《六百から演奏館上映》を纏る二人の女性の愛感の粗質を摘いた河合映画でを纏る二人の女性の愛感の粗質を摘いた河合映画で 中庭は緑れ盛つて歌を見はつ 夏川靜江 夏村 プソレタヨカワサルヌリチトへホニハロイ 0 でを

で

を

本

ートな

一人の

男 宣江氏 くと言ばれて更にい、かになっ て大喜びで夏州略でからは三人職の三君▲撃滅されなカメラに救め て大喜びで夏州略でからは三人職の 田監督の東連令が四日夜は登瀬 職能へ洗練な販電が附始され今年は 能へ洗練な販電が開始され今年は ▲美の夕(間奏機)ホキンの絵。 行はれた場めに六館全部の入場 学は 館の旅祭戦が起入り れたがるての にまじほくるイボ ff ながれ ff なかす 西・北二党ーサル計百萬常報は重夜二回興行です 夏川静江の夏川静江の 金三十段階下 スポントリー マップーマル社百度 中央公会会 では本映画の 道信 二十五巻 マップーマル社百度 遠隔地出張應奮 スウェートレス ・ 関連・大河内のトリオートレス ・ 関連・大河内のトリオートルスの単一・エロの風景・モダーの原子・モダーの東下時代の疾ーの表示を指令、エロの東京では一次である。 光線撮影診斷及治療 全科診療 博 活 和 ア護ジ海ロオー ス治シッ洋報が 五日封 多心 すイレスミ する無理性を表情を表するのでは、 1・9・欧川瀬枝主演 アルトの雨 アルトの雨 アルトの雨 1月20日本 本人の人力より 大の人力より を表して をまた。 なせ泣くか 園 の名篇運發 くら日記 ŔŔ Columbia





(155)

二二三

四五六

先番互先 控胸

六日上り四日

五厘の関税

性 (ロ)重量七封度を超えたるもの 七・生天竺布(幅三十四吋以上三 十七吋までのものにて長二十五 橋を超えざるもの) 橋の・三六本新○・八五

び近来にない活気を減らた 東京の金利 一齊に暴落

昨年は宮にわが經濟界の危機

0

對日爲替慘落

勝査代用の必要・、テールの需要 寛施に伸び輸入底職で富分心支配 寛施に伸び輸入底職で富分心支配

空前の安値に墜落

鈔票止めは四十八圓五十錢 倫銀現物は十四片八分の一

る附出しゆからず、大野は寶八氣

豆粕混保

改正規定を實施

いより

1十五日から

奥地営業者の利便大

地場鈔票共

大連、然口および奥地蔵の三種館 の屋席を簡優して共通版保修度に 取め、配して大連、小蔵子及び警 は一次外の谷地受部縣に脱て愛寄研 は一次外の谷地受部縣に脱て愛寄研 は一次外の谷地受部縣に脱て愛寄研

信○・一五年(徳楽は○・三年)なる場合)ものに比し見称一枚に

四、旬給は支

手数がからる利

地資浴せ

軍國同編銘 人 切讷

式

館の歌物は無縁後、 でした でした できる できる できる できる できない はい くば 歌神歌は いっぱ 歌神歌は

况会出

◆…との影響するさころを考料すれば肌に緊か生でるものがある 事にしみを感がある呼歌も体然 さして警報の苦動れなめなけれ ななないさを伸せればなるま

高ながらからからからからかけて やがて標準総数からかけて を表すらからかけて

▲40●二一 ▲新○●五一

員九ポンド乃至十一ポン

へつ重量七ポンドか超えざるも

銀安に怯えて

諸株式は軟弱

綿糸、麻袋も低落

より織出して見るさ左の短き版たカストム・インボート・メリ

重なる日本關係品の新舊税。正税則輸入税率六百四十七

は内國産業保護の指車されるべ

歌し大性に続て歌郷の歌紙をして 年を歌脈と歩に明和六年を連べる 年を歌脈と歩に明和六年を連べる

年来の供献

製者に鑑するさころ大なるものが

差引は大なる手動

不勢理の

定なるない。 では、 は自分で始末。 は自分で始末。 大、一の野な手数は 個人確定を月絵か ない、自分のことは一般

正さなったもので、新規定にては

あるで

旬給實施の鍵は

満鐵社員の手に

最早や時機の問題

神成季吉氏語る

消費を減退せらむ

心可可三维左西市港大

三馬力半より

拾五馬力迄各種

渡郷には多少の不

19○・三七五へ新○・九二一六銭、現稲一関七十七銭五原、豆一たが本日の裾流會は体會中におけるの・三七五へ新○・九二一六銭、現稀與飛椒場は大豆五圓六十五、があり、一號に輸食み騰緩を纏つを超えざるもの) 年起、早飴の保會中における市中 | 徳十七町六十五銭見驚にて手合せ

●十二封度中以上のもの ・大四五▲新ー・五〇 ・大四五▲新ー・五〇 ・大四五▲新ー・五〇 ・大四五人新一・五〇 ・大四五人新一・五〇 ・大四五人新一・五〇 ・大四五人新一・五〇 ・大四五人新一・五〇 ・大四五人新一・五〇

特産一齊に暴落

市場は活況を呈す

・四八▲新一・一○

一封度乃至十二封度

大連株式融品販品所では六日午前 した融品市場の視式館は午前十時 製造の一二十段安修株も転録内地語 て関類源に新したが総数市場は大阪三記 権助のに対したが を開始したが総数市場は大阪三記 権のの総数を臨め一層難人 無さな ご場像いて需由は運動人類さなり 実所株はや関東五十段が至八十 戦争源にがら水路が事事の接続を取引 を開始したが総系市場は大阪三記 権のと とび、大連株式融品販品がでは、二三面機みの低級を入れ観の機器 地震が 大連株式融品販品がでは、二三面機みの低級を入れ観の機器 地震が 大連株式融品販品がでは、二三面機みの低級を入れ観の機器 地震が はいづれも一面臓みの低級を記

財界の前途と

本年度株界

事務取締役 濱 野

年覚易は十二月中旬まで)C単位子昨年度内地貿易を見るに(但し五

能成でれば常野者

しき思述がない医療の必要はあっ

南な戦機をしてぎる は他神であるが身 は他神であるが身

豆油 一五一〇百箱 豆油 一五一〇百箱

二十五國二十級

·兒切·兒乳

替九五八四語電

が強い。

はいりのである。

空前の新安値

▲昭和五年

貿易の好轉

を中外降の大吹篭振りを記す事になるを歌記してるを歌記してるを歌記してるを歌記しているを歌記しているを歌記しているを歌記しているを歌記している。昨年度始出回場は其大宗れる。昨年度始出回場は其大宗れる。
一本の特人の大の海りであるが、一本の特人の大部の中途即であるが、これに反と輸入の大宗れる。
「一本の特人の大部分が質けが標落の中途即であるが、これに反と輸入の大宗が移動というと解析であるが、これに反と輸入の大宗が移動というというという。

東 長 展 展

大連株式商品取引人

拉带六十副李币建夫 ニネカンレイタ客信受

田商四株元昭

下课行。是成城。侧、第十六 一月七日 下课行。是有一个,我们,一月七日 下课行。是有一个,我们,一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课行。是由为一一月十日 下课市山鲜丽二〇〇香地 大理市山鲜丽二〇〇香地

■ 專圖荷扱所〈大連市 大阪商船城武大連支店大阪商船城武大連支店 大連支店

月月

1104,00

大連市漫連町電三六八二番 事職荷援所大連市山縣通 國際、運輸付式、東里文店 電社左記の店所にて荷物養送引受 市地各港行連絡引換證養行数ます 季天、管口、公主韻、顕鏡、開原 事本、管口、公主韻、顕鏡、開原

大連市山縣通電話

横濱直行

手形交換(六

AE ME AT A T T 工事に及れ、他の相称をきまり、他ので職内も大いには

初 立會の

にできなる事化し生活の安定を配

錢鈔市